### 慢性期包括評価における患者分類のたたき台

提案された患者分類方法を基にたたき台を作成した。

#### 1.基本的考え方

患者毎に提供されるケアについて、ADL自立度、認知症の程度、処置等による区分を設け、その組み合わせを基にした分類方式とした。

また、医療現場への導入しやすさに鑑み可能な限り簡便なものとした。

## 2. 具体的設定方法

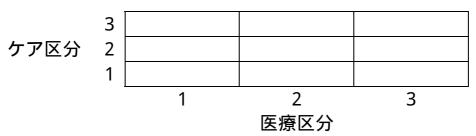
医療提供実態から見た医療区分、 ADL自立度と問題行動から見たケア区分によるマトリックスとする。

: 処置・病態・病名等による加算について医療必要度として3段階の区分

\* 出来高で算定すべきもの(例:リハ、透析等)については出来高とする。

: A D L 自立度及び問題行動を反映させた3段階の区分 \* 認知症については問題行動の中で反映させる。

# (イメージ)



## 医療区分のイメージ:

頻回の喀痰吸引、レスピレーター装着等 区分3 褥そう3度、糖尿病(毎日注射) 区分2

### ケア区分のイメージ:

食事、排泄共に介助の場合 区分3 どちらか一方で 区分2